



企業インテリジェンスの戦略的共有を実現するSASポータルソリューション SAS® Information Delivery Portal

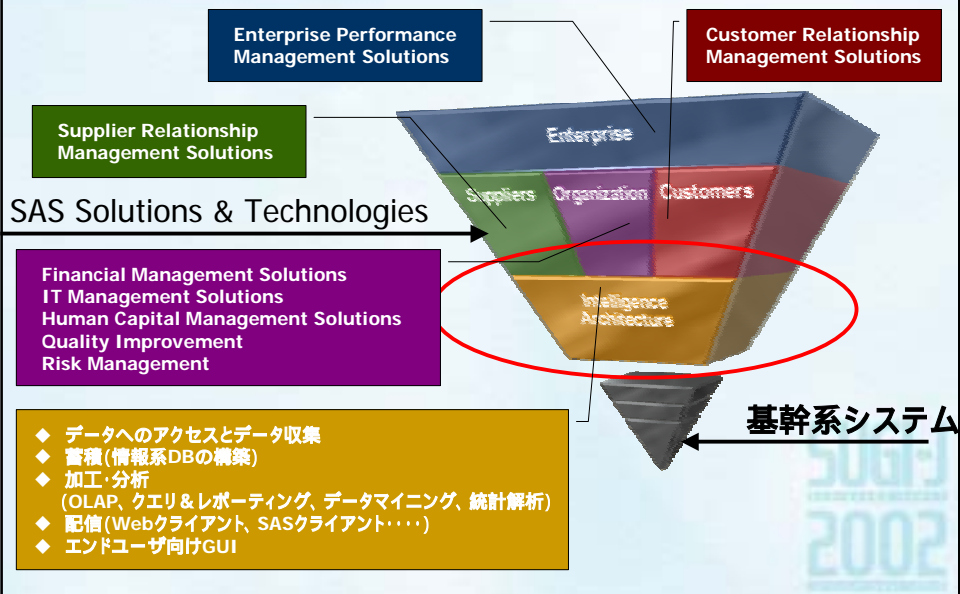
2002年8月2日

株式会社SASインスティテュート ジャパン
マーケティング本部
プロダクトマーケティング部
Information Delivery Portal プロダクトマネージャ 松本有紀



日本 SAS ユーザー会

SASインテリジェンスレイヤー



情報過多

今日の企業やそこで働く人々は、情報の過多に苦しんでいます。



SUGI-J
2002

分散する情報と人材

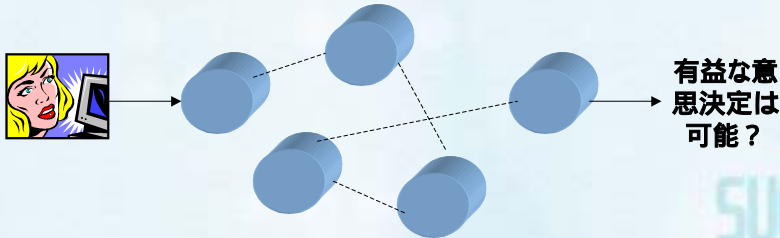
- 市場が国内から世界的な市場へと移行
- データやアプリケーションは地理的に分散
- 情報を必要とする人(情報の消費者)は地理的に分散しているだけでなく、外出している場合も多いという問題もある



SUGI-J
2002

インターネットとイントラネット

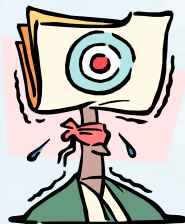
- 意思決定に必要な情報・意思決定に役立つ情報を得るために、分散するネットワーク上をあちこち探し出さなければならないのが現状
- あきらかに時間のかかる作業であり、有益な意思決定が下せる保証もない



SUGI-J
2002

企業の挑戦

- 迅速に必要な情報を探し出し、その情報を、必要な人に、望まれる方法で、必要なときに配信するにはどうすればいいのか



“社内・社外に関わらず、適切な人物であれば、情報は、適確なフォーマットで必要なときに、適切な場所にいつでも入手可能な状態でなければならない。

これが実現できなければ長期的には存続の危機であると言ええる”

Source: Butler Group research notes - Sept 2000

SUGI-J
2002

EIP日本市場予測

- 2003年にグループウェア市場を超える
- 2005年に約385億円

野村総合研究所・マイクロソフト調べ

SUGI-J
2002

企業ポータルに求められる最低限の機能

METAグループによる定義

■ 必須の機能

- パーソナリゼーション
- クラシフィケーション
- セキュリティとアクセスコントロール
- コンテンツの抽出と集約
- Web ベースの参照および配信
- コラボレーションとディスカッション
- 職種/専門技術のマッピング

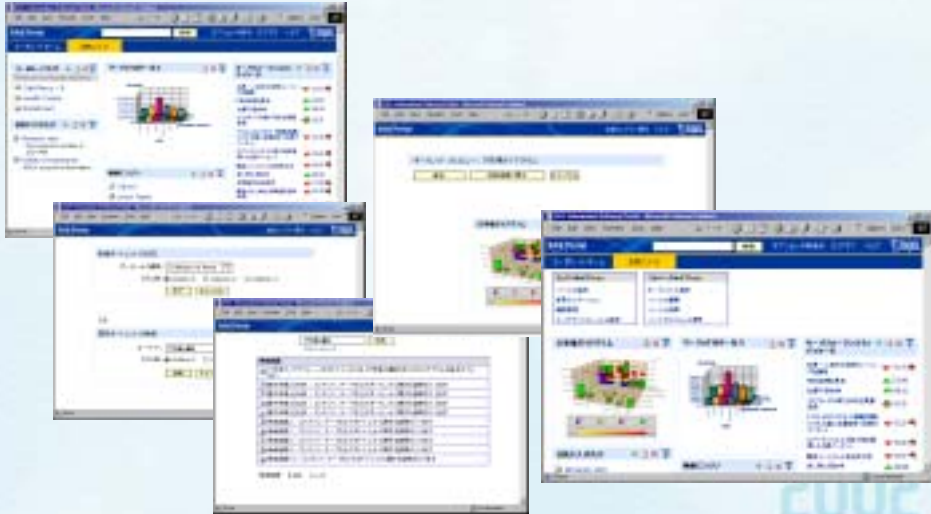
■ その他の機能

- BI指向の分析機能
- アプリケーションインターフェースまたはコンポーネントプレゼンテーション
- インターネットサイトの活用
- 個人のソースとして保管されたコンテンツへのアクセス
- レポジトリ サービス
- プロセスマネージメント機能
- カレンダー・スケジュール機能
- 情報配信におけるプッシュ型の機能

SUGI-J
2002

パーソナライズ

- ブラウザ上でエンドユーザが簡単にパーソナライズ可能



ポータル導入の理由

- 情報の全社的かつ効率的な配信・共有
- プロジェクトやグループ内でのワークシェアリング
- コンテンツおよび情報の管理
- エンタープライズアプリケーションとの統合
- ポータルを活用したカスタマーサポート
- ポータルを活用した、パートナーや調達先のサポート
- 管理機能の向上(インターネット)
- トレーニングコストの削減

Butler Group Research

SUGI
2002

情報の全社的かつ効率的な配信・共有

- 外部のニュースソースから得る情報
- 社内的なニュース
などなど……

適確な意思決定に十分な情報となりえるのか？

SUGI-J
2002

情報の全社的かつ効率的な配信・共有

迅速かつ適確な意思決定を行うには……

- 市場のトレンドを見るための外部のニュースソース
 - 社内の状況を把握するための社内ニュース
- +
- 企業の実データを使用して適確に分析を行う(現状把握)
 - 蓄積された実データをもとにした、フォーカスティング(将来的な可能性の予測)



適材・適所に迅速に情報配信を行い

- 実データから得たインテリジェンスをもとに、次にとるべき行動・対策を考え、アクションを起こす

SUGI-J
2002

Data Warehouseとの連携

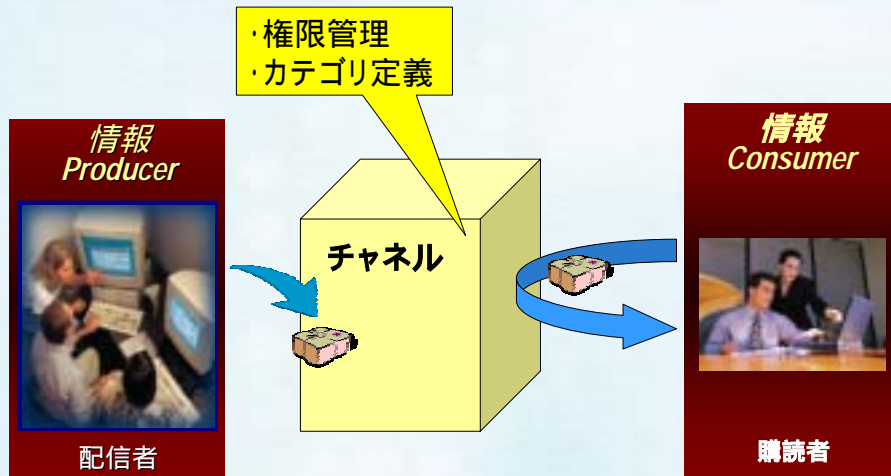
- Data Warehouseに蓄積された情報を企業規模での確に共有
 - 静的レポート
 - 動的レポート
 - アドホックレポート



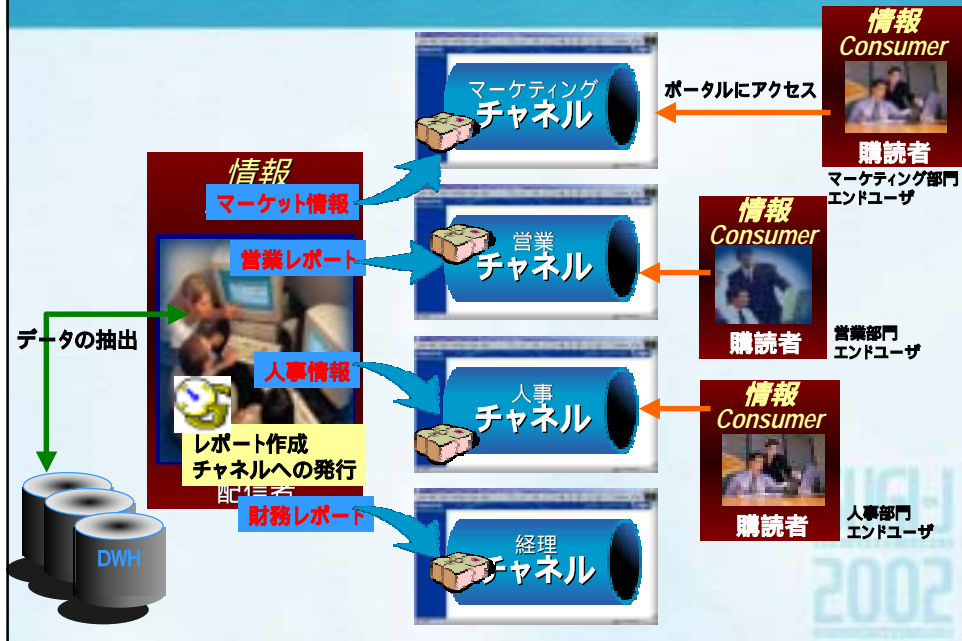
他のソリューション・製品との連携

- Supplier Relationship Management Solutionなど、SASの提供するソリューションとのシームレスな連携が可能
- SASシステム、Enterprise Guide、Enterprise MinerなどのSAS製品から、分析結果のパブリッシュ(発行)が可能

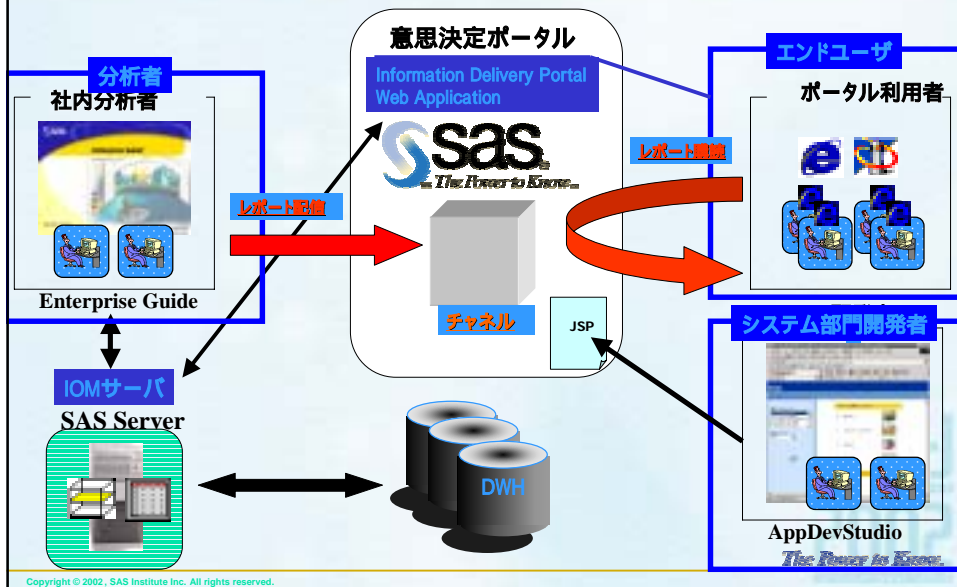
Webチャンネルを活用したパブリッシュ/サブスクライブ



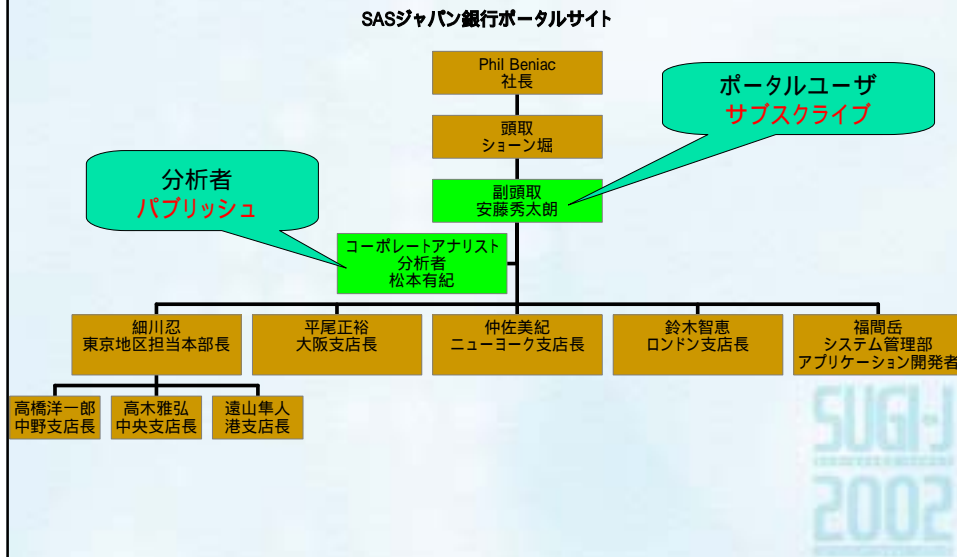
Webチャンネルを活用したパブリッシュ/サブスクライブ



含まれるコンポーネント



DEMO



事例



Romain Petit, director of corporate business analysis, Bureau Veritas

“SASのポータルは、顧客へのさらなる価値の提供を可能にすることで、我々に競争力を与えてくれました。”



BUREAU
VERITAS

“SASのポータルは社内での情報共有に大きな改革をもたらしました。繊細な情報に対する、迅速かつセキュアなアクセスが、低コストで実現したのです。”

SUGI-J
CONFERENCE
2002

Q&A



SUGI-J
CONFERENCE
2002
The Power to Know.